

# 郊外団地・商店街における 共生空間づくり

コミュニケーション社会学科3年生 10名

# 目的

みさと団地は急速に高齢化が進んでいて、さまざま地域課題が生じている。団地内の商店街も閉店する店舗が多く、シャッター街化が問題視されている。

①商店街で開催される地域イベント（「夏祭り」「ハロウィンイベント」）に出店参加することによって、交流を深め、地域の活性化につなげる。

②地域イベントを客観的な視点でみることにより、みさと団地に起きている地域課題とその解決のための「資源」を見つける。

# みさと団地とは

- 埼玉県三郷市にある、大規模賃貸および分譲集合住宅
- UR（都市再生機構）により1973年に建設された
- 総住宅戸数：9867戸　ピーク時は23000人
- 最寄り駅：JR武蔵野線「新三郷駅」より徒歩15分、「吉川美南駅」より徒歩25分

# 連携先

- みさと団地南地区コミュニティ広場 2019実行委員会
- 特定非営利活動法人MiKOねっと
- みさと団地自治会
- みさと団地センターモール協同組合
- UR（都市再生機構）
- URリンクページ



中央商店街



南商店街

# 前期の活動

# 夏祭りへの出店参加

2019年7月21日

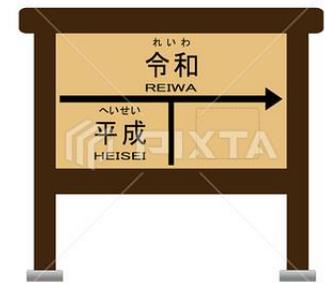
みさと団地南街区コミュニティ広場（南商店街）で夏祭り開催

水でっぼう射的

- ・ 団地の子どもたちと大学生との交流を図る
- ・ 水に触れて涼しさを体感する場をつくる
- ・ 射的を射ることで集中力を身に付ける

# 出展のテーマ①：古き文化に光を

→忘れかけられた遊びを現代で体験



背景：電気機器によりかつての遊び  
は忘れ去られた

祭りでの提案→射的の使い方を学んでもらう

# 夏祭りへの出店参加

2019年7月28日

みさと団地中央商店街にて45年以上続く自治会主催の夏祭り（みさと団地最大のイベント）が開催された。

（2）中央商店街夏祭り：ボディシール

・気軽にワンポイントオシャレを楽しみ、いつもより楽しい時間を提供する

## 出展のテーマ②：自分に光を

→幼少期・小学生では経験することが、難しいことを体験



背景：化粧等の美容に力を入れるこ  
とが若年化

祭りでの提案→マニキュア等の経験を早いうちから

# 夏祭りの事前準備

- 団地の人たちと提灯をつける手伝い
- 団地の人たちと打ち解けあった



# 出店の様子



# 出店の反省点と課題

- 子供が順番を守れていなかった
- ボディーシールの試作不足
- 机の上の整頓
- ルールの不備や伝達不足
- 広告不足

後期

# ハロウィンイベントへの参加

- 2019年11月02日にみさと団地センターモール商店街にてハロウィンイベントが開催され、前期同様、みさと団地センターモール協同組合と連携した。
- このイベントでは、実行委員会段階から参加し、
  - (1) 出店（ネイル&ボディシール）
  - (2) 広報活動
  - (3) イベント全体の運営に取り組んだ。

出店：ネイル&ボディシール

ポイント：幼児にも配慮された  
成分配合  
水で落とせるので除光液いらず  
発色がいい



実施するに当たり、  
右記のような  
ルールを作成。

ボディーシール・ネイルをするとき  
のおねがい

- ① 順番じゆんばんを守まもってならんでね
- ② ボディーシールは1人り2枚まい、ネイルは1人り1回かいです
- ③ ネイルができるのは3歳さいからです
- ④ ボディーシールを貼はってからネイルをしてね
- ⑤ ボディーシールとネイルは必ずかならその日ひに水みずで落おとしてね
- ⑥ ネイルは水みずで取とれやすいので注意ちゆういしてね
- ⑦ かゆくなったらすぐにとってね

仮装したたくさんのお客さんが来てくれました。



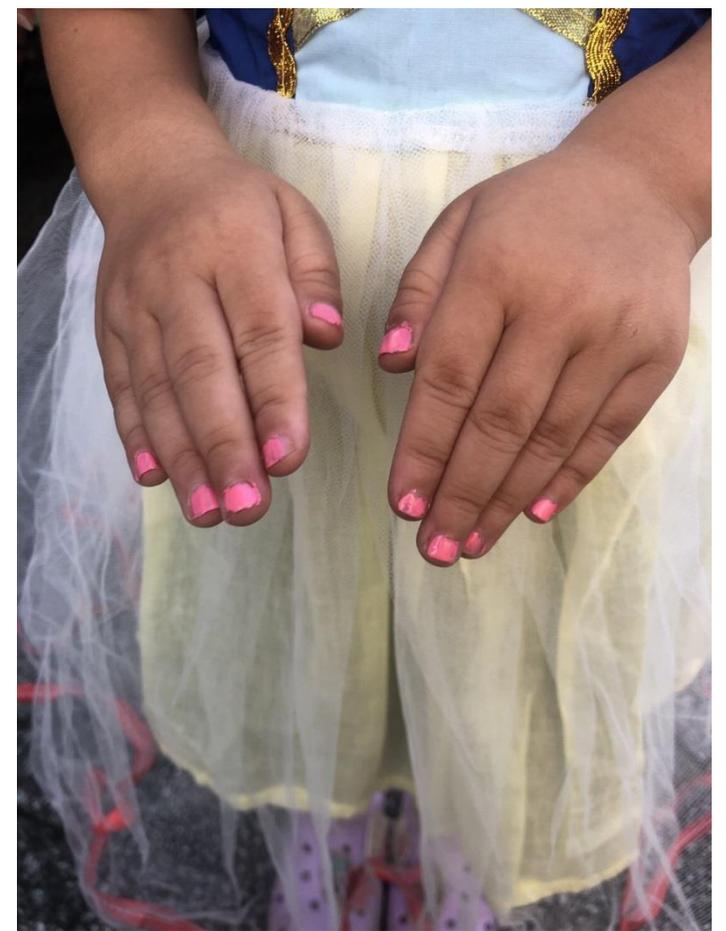
暗くなった用のかぼちゃのライト



早く乾かすためのネイルドライヤー



# ネイルの様子



# ボディースタンプ

ポイント

幼児の安全面に配慮したシート



種類：ディズニー・ミニオン・お化け etc、

400シート購入。

→早期完売！！！！



# フィードバック①

良かった点

- ・ 子供が順番を守れていた
- ・ 試作が充実していた
- ・ 机の整理整頓が出来ていた
- ・ ルールの設定や伝達がしっかりしていた

# フィードバック②

## 改善点

- ・ 子供とのコミュニケーション不足
- ・ お客様さんの把握

# 広報活動の流れ

## 【準備期間】

- 使用するSNSの検討
- みさと団地商店街で打ち合わせ
- 使用するアカウントの作成
- 出店準備の様子や昨年の様子を投稿

## 【当日】

- リアルタイムでイベントの様子を投稿

# Instagramを使用した広報

## 【Instagramにした理由】

- TwitterやFacebookに比べ、画像（写真）中心の投稿であるため印象に残りやすく宣伝効果があると考えた
- 位置情報やハッシュタグで検索にヒットしやすい
- ユーザー層が幅広く、様々な年代の人がいるみさと団地にあっていると考えた



# S N S で発信する際の注意事項

- 当日のテレビ取材の様子は載せない
- 出演するタレントの宣伝は控える
- 主催団体を明確にしない
- 投稿する際は広報活動の説明をし、許可をとる



misatohalloween ▾



13

投稿

1

フォロワー

0

フォロー中

## みさと団地☆ハロウィンイベントPR☆

埼玉県 みさと団地 ハロウィンイベント 🎃 が2019年 11月  
2日 土曜日に行われます！

団地の方も近隣の方ぜひ参加して下さい！

準備の様子を随時アップしていきますので、チェックして

下さい 🧛 🍫 🧛



misatohalloween

みさと団地

...

Happy Halloween!

# みさと団地 ハロウィンイベント

2019 11月2日 土曜日

※天候等により、イベントの内容が変更になる場合があります。

## みさと団地センターモール広場にて開催!

### ワークショップ/模擬店など

🕒 14:00 ~ 順次開始

- お外リビング de Happy Halloween (UR 都市機構 O-LDK 部)
- オリジナルフォトフレーム作り (UR リンケージ)
- ゲームなど (ダイナム)
- ボディシール & ネイル (文京学院大学)
- 模擬店出店 (センターモール協同組合)

ハロウィン仕様の  
フォトスポットも  
あるよ!!

### パフォーマンスなど

🕒 15:00 ~ 16:00

- ライブアート (ケイソウルヤン)

🕒 16:00 ~ 17:00

- 仮装大会参加者受付
- ※先着 30 組
- ※受付場所: ステージ脇

🕒 16:30 ~ 17:00

- ステージで踊ろう♪
- ※子供向け、ステージでかける音楽に合わせて自由に踊ろう

🕒 17:00 ~

- 仮装大会スタート

18:30 ~ 仮装大会参加者行進 ※お菓子プレゼント!

19:00 ~ 仮装大賞発表 ※賞品もあります!

主催: みさと団地センターモール協同組合  
協力: みさと団地自治会 / 7 街区自治会 / ダイナム / 文京学院大学 / アウトバーン / 南橋氏 / UR 都市機構 / UR リンケージ

みさと団地ハロウィンイベント🍷ポスターが完成しました🔥🔥

模擬店やライブアートなどのパフォーマンスを行います!

また、ハロウィンといえば! 仮装大会を開催します🏆  
参加者にはお菓子、大賞者の方には景品もご用意しております!!

沢山のご参加お待ちしております😊❤️

#みさと団地ハロウィンパーティー #みさと団地ハロウィン2019 #みさと #団地 #みさと市 #ハロウィン #ハロウィンイベント #地域イベント #団地暮らし #子供の仮装 #みさと団地センターモール #祭り #仮装 #仮装大会 #ハロウィンコスプレ #ハロウィンコスプレ子供

10月17日



niko\_\_wakuが「いいね!」しました

misatohalloween .

# 活動結果

## 【期間】

10月17日～11月2日（17日間）

## 【投稿回数】

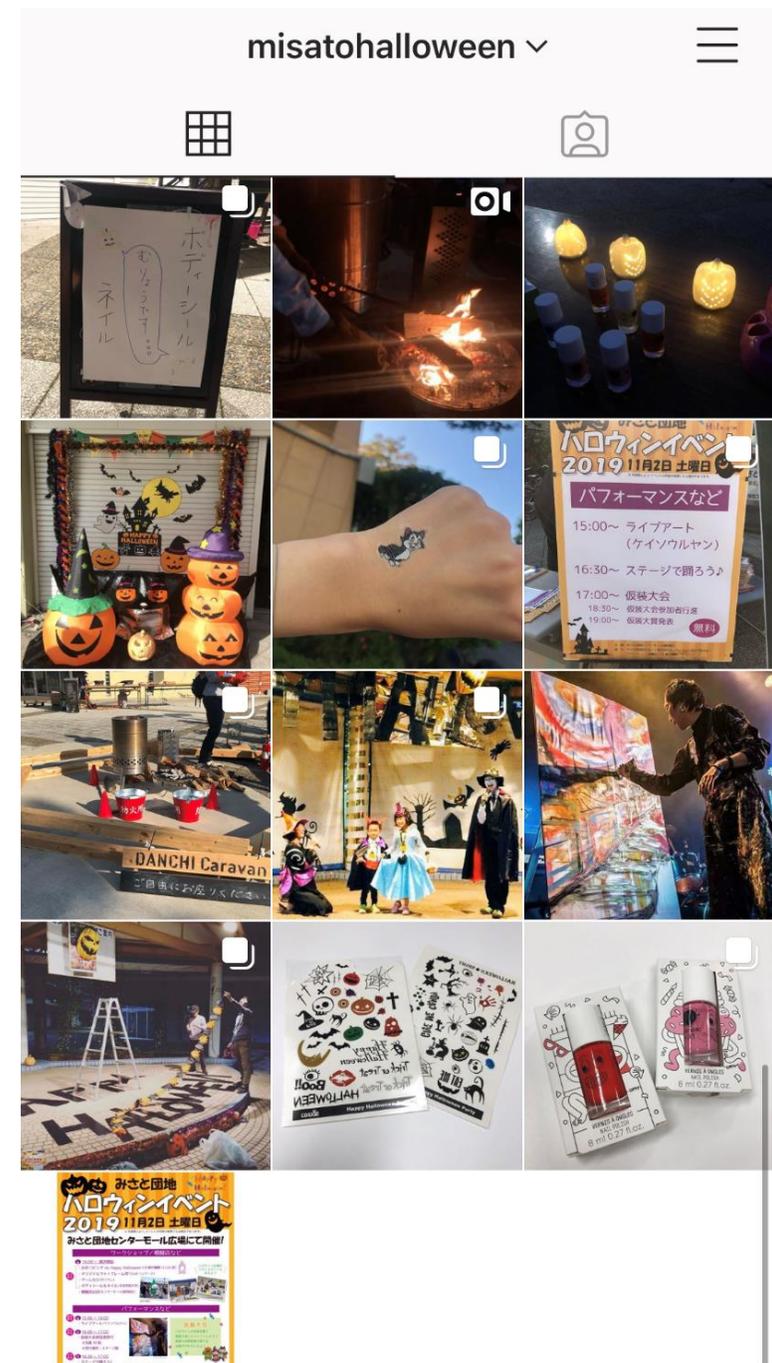
13回（内、写真23枚・動画7回）

## 【フォロワー数】

1人

## 【いいね！してくれた人数】

12人



# イベント全体の運営

- 現地での入念な打ち合わせ
- ステージの飾り付けの手伝い
- 景品について考えた



# イベント全体の運営

- 販売のお手伝い
- けんちん汁、けんちんうどん、カレー
- 店の設営の手伝い



# イベント全体の運営

- ステージ上での学校紹介と出店の紹介
- 練り歩きの誘導



# 1年間の活動を通じて

- 野外で行われる地域イベントへの出店について、子どもたちが喜ぶ企画の実現方法とそのノウハウを身につけることができた。
  1. 入念な打ち合わせと準備を通じて、関係をつくる
  2. 寒暖差や太陽光の影響を少なくする
  3. 子どもたちとコミュニケーションをとる

# 明らかにになったこと

1 団地商店街内には商店街組合、自治会、URなどいろいろな主体がいて、イベントに対しても様々な考えがある。その中で、役割分担や事前の調整などを工夫しながらイベントが実現されていることを知った。

2 フィールドワークや事前打ち合わせのために団地を訪問した際には、団地や商店街には子どもたちはあまり見られなかったが、イベント当日にはたくさんの子供が参加してくれた。子どもは「いない」のではなく「来ない」のである。団地商店街の課題として、子どもたちに足を運んでもらえるような工夫が必要だと分かった。